

# 分野別推進戦略の 検討状況について

平成18年2月28日  
総合科学技術会議  
基本政策専門調査会長

# 「分野別推進戦略」とは

## 科学技術の戦略的重点化

### 基礎研究

自由な発想に基づく基礎研究については、多様性を確保しつつ、一定の資源を確保して着実に推進

### 政策課題対応型研究開発 〔選択と集中の一層の徹底〕

#### 重点推進4分野

(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料)

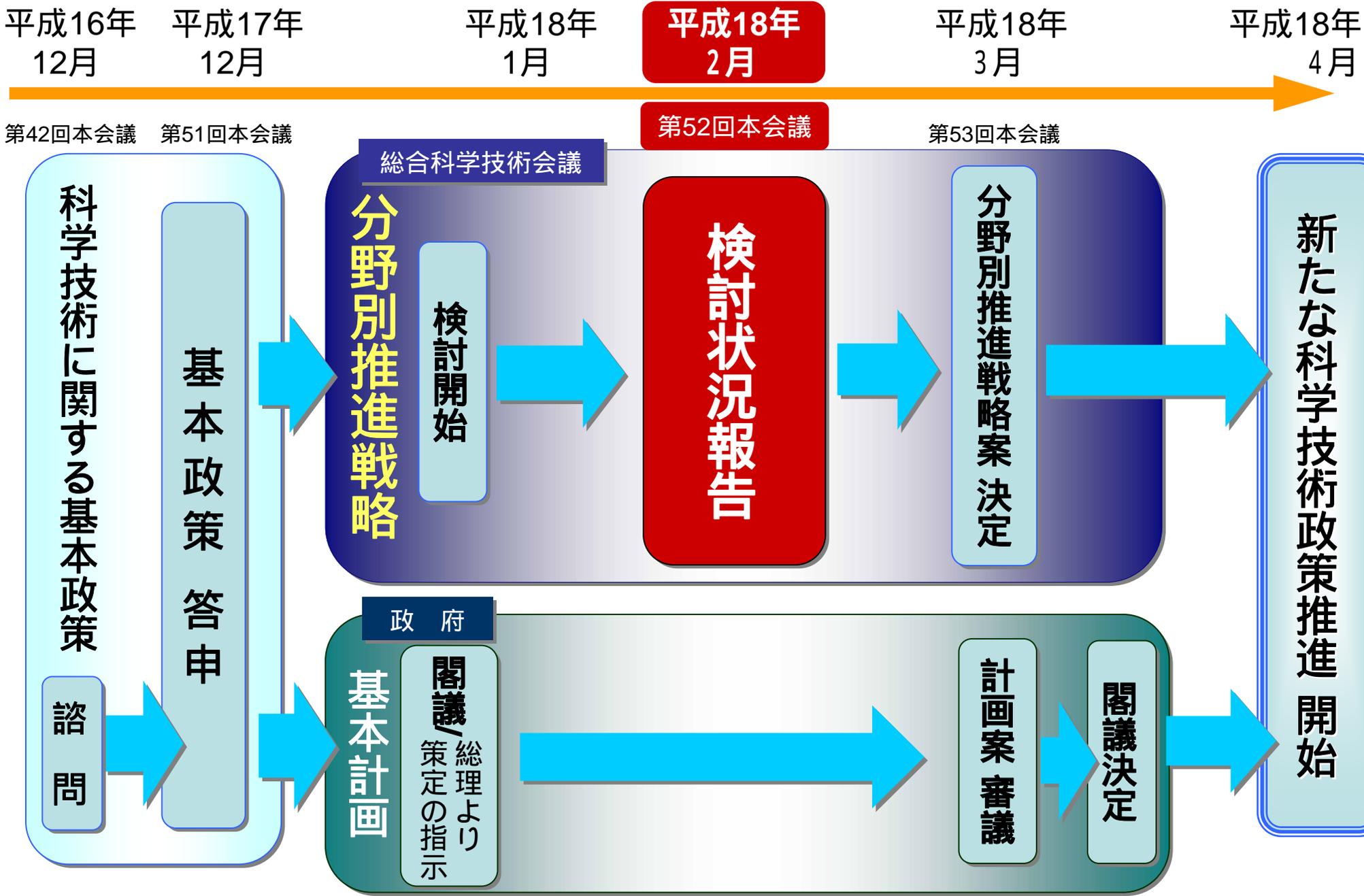
#### 及び推進4分野

(エネルギー、ものづくり技術、社会基盤、フロンティア)

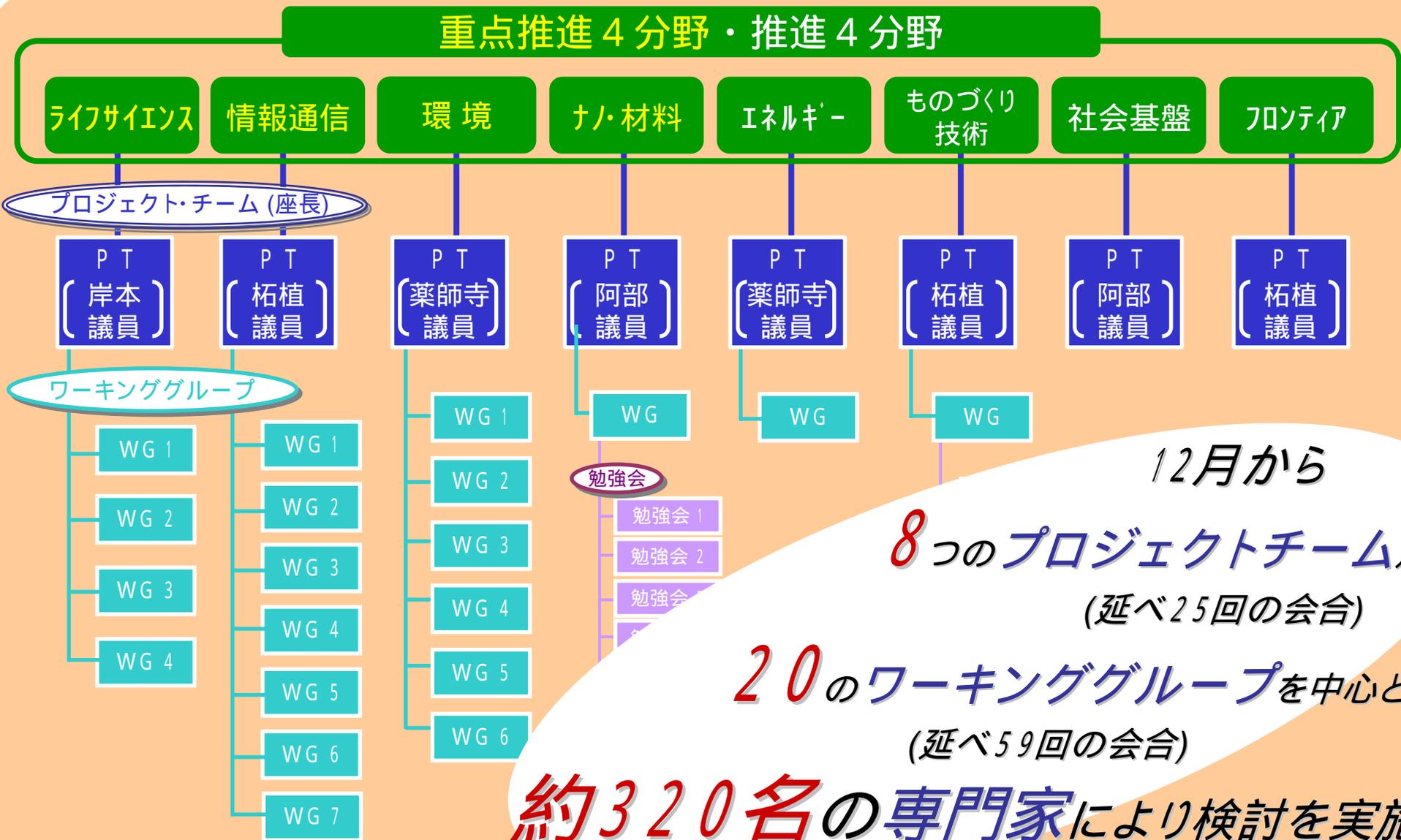
#### 2 分野内の重点投資

分野別推進戦略

# 分野別推進戦略策定に向けた流れ



# 分野別推進戦略案の検討体制



12月から

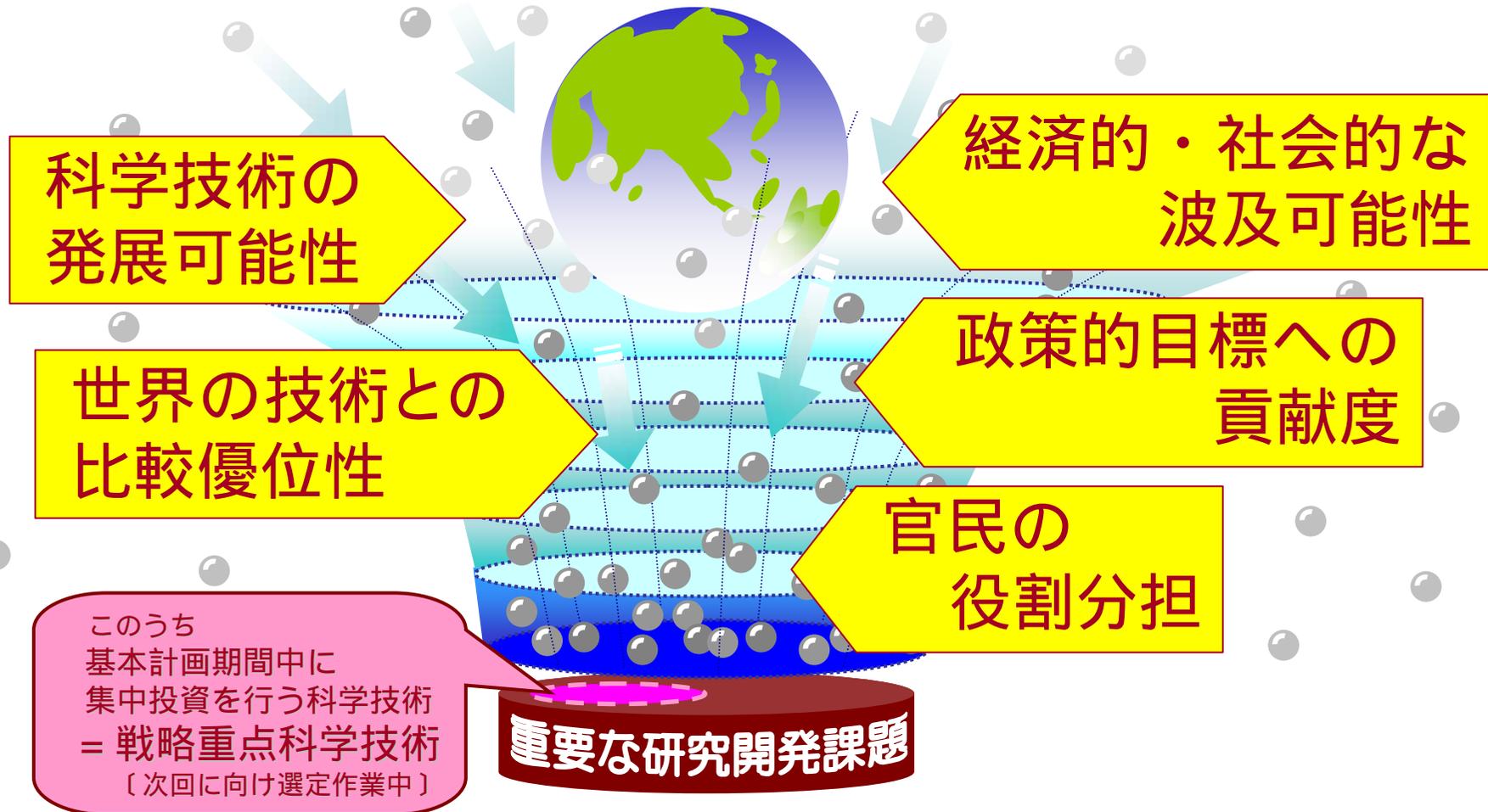
8つのプロジェクトチーム及び  
(延べ25回の会合)

20のワーキンググループを中心として  
(延べ59回の会合)

約320名の専門家により検討を実施。

# 分野別推進戦略案の検討状況(1)

## ～重要な研究開発課題の抽出～



# 約 280 課題

(分野間融合による新領域の課題を含む)

# 分野別推進戦略案の検討状況(2)

## ～ 各分野における重要な研究開発課題の例 ～

- ◆ **重要な研究開発課題毎に、最終的な社会・国民への還元の目標(成果目標)を設定。重要な研究開発課題の研究開発が、政策目標に貢献。**
- ◆ **責任体制を明確化し、進捗状況を評価・検証。**

### ライフサイエンス分野(例)

政策目標

生涯  
はつらつ  
生活

成果  
目標

2020年頃までに、現在是对応していない病気にも良く効く  
新しい抗体医薬や、個人個人にあった医療を可能とする。

研究開発  
目標例

【重要な研究開発課題】～ 国民を悩ます重要な疾患に関する研究開発

がん、免疫・アレルギー疾患、生活習慣病、骨関節疾患、腎疾患、膵臓疾患等の予防・診断・治療の研究開発

2010年頃までに、イメージング技術により、遺伝子・細胞レベルで薬物の動きを把握。分子機能解明により薬の候補の選択を大幅に迅速化。また、病気の原因となるタンパク質などを特異的に認識できる抗体づくりの基盤技術や、製造コスト低減に向け、抗体づくりを高効率に行う技術を確立。

# 今後の作業(1)

重要な研究開発課題の中から「**戦略重点科学技術**」  
(基本計画期間中において集中投資の必要がある研究開発)  
を絞り込み。(選択と集中)

## 戦略重点科学技術の要件

- 1 **社会・国民が直面する課題** に対し **迅速・的確に対応**
- 2 **国際競争に勝ち抜く上で不可欠**
- 3 **国家基幹技術** (国家的目標・長期戦略により取り組む大規模プロジェクト)

「**活きた戦略**」とするための **推進方策** を検討。  
個別分野毎の **人材育成策** や **制度的隘路の解消** など。

## 今後の作業(2)

- ◆ 以上の作業を経て、**次回本会議**での「**分野別推進戦略案**」の決定を目指す。
- ◆ 平成18年4月から分野別推進戦略に則り、政府研究開発を **戦略的に推進**。